

第2章 定住化に関する各種意向調査

2-1 不動産事業者ヒアリング調査

(1) ヒアリング調査概要

ヒアリング調査の目的

長洲町及び隣接する荒尾市における住宅関連の民間事業者等に対するヒアリングを通じて、本町における今後の住宅市場の動向や、必要とされる住宅施策に対する意向を把握することを目的とします。

その際、地域の住宅ニーズをこの計画に反映させるため、地域の住宅事情に精通している不動産業者に、新たに住む上で地域住民に望まれている要素や生活する上で望まれている要素、また、住宅販売市場の動向等の調査を実施しました。

ヒアリング調査の実施方法・期間

実施方法：直接訪問による聞き取り

実施期間：平成23年9月29日、30日の2日間

ヒアリング調査の対象

長洲町及び荒尾市の不動産事業者の中で、町内の不動産取引について一定規模で積極的に行っている長洲町内2社、荒尾市内4社を対象にヒアリングを実施しました。

ヒアリング内容

不動産事業者に対してヒアリングした項目は次のとおりです。

不動産物件の動向について

- ・持ち家市場
- ・借家市場

不動産市場の特性について

- ・居住地選択の傾向
- ・荒尾市の緑ヶ丘住宅の開発について
- ・空き家について

今後の住宅地開発の動向について

- ・長洲駅前開発について（予想される需要、開発にあたり求められる町の施策等）
- ・太陽光、自然環境など、いわゆる環境不動産の評価について

(2) ヒアリング調査結果まとめ

ヒアリング調査結果をまとめると次のとおりです。

| 項 目 | | 町内事業者ヒアリング | 町外事業者ヒアリング |
|------------------|--------------|---|---|
| 不動産物件の 動向について | 持ち家市場 | <p>【地価相場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長洲町内（旧長洲）6～7万円/坪。 ・上記以外4～5万円/坪。 <p>造成費を考慮すると農地でも宅地と同価格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・六栄地区は避けられる傾向がある。 ・需要が高いのは70～80坪規模。 <p>【建売相場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長洲町内2,000万円上限。 | <p>【地価相場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長洲町内6～7万円/坪。 長洲地区（駅前、長洲中周辺） ・荒尾市内8～10万円/坪。 ・大牟田市内11～12万円/坪。 <p>【建売相場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長洲町内1,500～2,000万円程度。 |
| | 借家市場 | <ul style="list-style-type: none"> ・賃貸・アパートの需要は多く増加傾向である。 ・ただし、仮住まいとしての需要であり、住宅購入の際は他市へ転出してしまふ。 ・一軒家の借家は需要が多い。 <p>【家賃相場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5万円/月（2DK） | <p>【家賃相場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5～6万円/月（3LDK） |
| 不動産市場の 特性について | 居住地選択の傾向 | <ul style="list-style-type: none"> ・長洲町出身者が選択するケースが多い。 ・造船業関係者は、まず六栄地区（社宅のある校区）で探し、物件が無い場合、荒尾市で探すケースが多い。 ・若者が求める住宅地像は見た目がきれい等である。 | <ul style="list-style-type: none"> ・長洲町は安価でニーズはあるが、物件が無く他市へ流れてしまふ。 ・東日本大震災以降、海に近い長洲町は敬遠される場合がある。 ・荒尾市は近隣と比べて歴史的に物価が安いので人気がある。 ・パート時の子育て援助等のため、夫人の実家周辺で居住地を探す傾向が強い。 ・若者は安い物件を探している。街並みは見た目を重視。 ・固定資産税で選択するケースあり。 |
| | 緑ヶ丘住宅地開発について | <ul style="list-style-type: none"> ・緑ヶ丘住宅は、公務員や医療関係者が多い。 | <ul style="list-style-type: none"> ・12万円/坪、土地総額700万円程度。 |
| | 空き家について | <ul style="list-style-type: none"> ・旧長洲町は間口が狭く形状が悪いため、1軒だけ空いても売れない。数件まとめないと売れないため、空き地や空き家が増えてしまふ。 ・所有者からの空き家活用の依頼は少ない。（そのまま所有している。） | <ul style="list-style-type: none"> ・空き家を借上げ改修して町外居住者へ賃貸し、町内暮らし体験を経て駅前等に定住へ結びつけてはどうか。（住民税免除等のソフト施策とセットでも良い。） ・既存コミュニティのある地域へ新たに住まうことは敬遠される。（新参者同士が好まれる。） |

| 項 目 | | 町内事業者ヒアリング | 町外事業者ヒアリング |
|-------------------------|--------------------|--|---|
| 今後の住宅地 開発の動向に ついて | 長洲駅前開発 について | <ul style="list-style-type: none"> ・長洲町の不足施設は、病院、本屋・レンタルビデオ屋である。 ・助成金は不公平感がないような配慮が必要である。 ・地主が土地を売らない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・駅前地区は地盤が悪く、建築時に余分な経費がかかるためデメリットとなる。 ・商業施設、金融機関、医療等の生活利便施設や子育て支援策（保育・学童・学校・学習塾）が必要である。 |
| | その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・一ノ割周辺は、道路が広くなれば需要があると思われる。 ・六栄地区は敬遠される。 | |
| | 環境不動産の評価 | - | <ul style="list-style-type: none"> ・需要層の所得が総じて低いため、環境不動産のハードルは高い。 |
| その他 | 定住促進のための 施策について | <ul style="list-style-type: none"> ・長洲町と荒尾市は、熊本県内でも医療費が高い。 ・教育のまちをアピールする。塾や学校教育など。 ・他市の効果的策として、住宅取得補助金（玉名市）がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・長洲町は旧来からあまり変化がなく、発展性を感じられないイメージがある。 ・長洲町の情報戦略が不足している。（特に今後の子育て世代へのPR） ・定住促進には教育が重要で効果的であり、教育水準の向上・特色ある教育が求められる。 ・定住促進策はどれも類似しており、他市町とは異なる長洲町独自の施策のアピールが重要である。 ・一時的な助成金等よりも、“ここに住みたい”と思わせるまちづくりが必要である。 ・他市の効果的策として、住宅取得補助金（玉名市）、新築時の上下水道材料提供（みやま市）がある。 |

2 - 2 町内事業所従業員アンケート調査

(1) アンケート調査概要

アンケート調査の目的

住まいづくり基本計画の策定にあたって、町内居住者が今後とも長洲町に住み続ける“定住”と、町外居住者が町内へ移り住む“移住”を促進していくために、定住・移住に係る施策を展開する際のメインターゲットを町内企業の従業員と捉えます。

その中で特に、町内の社宅居住者の定住に係る意向、町外居住者の町内転入に係る意向に関して、定住促進を総合的に推進するための計画の策定へ向けて、住宅・住環境に対する評価や将来の住み替えに対する意向を把握するためにアンケート調査を実施しました。

アンケート調査の実施方法・期間

実施方法：各企業の総務関係部署経由で従業員にアンケート用紙を配布しました。配布対象者の選定は各企業に依頼し、若い世代（今後、持家を建てる可能性がある者、または社宅に居住する者）を中心に配布しました。

実施期間：平成 23 年 10 月 14 日から平成 23 年 10 月 28 日までの約 2 週間。

アンケート調査の対象企業及び配布数

アンケート対象企業及び配布数は次のとおりです。

| 対 象 企 業 | 配布数 |
|----------|---------|
| 町内企業 4 社 | 2,000 票 |

アンケート票の回収率

アンケート票の配布数 2,000 票に対し、回収数は 1,620 票で、回収率は 81.0%となっています。

(2) アンケート調査結果

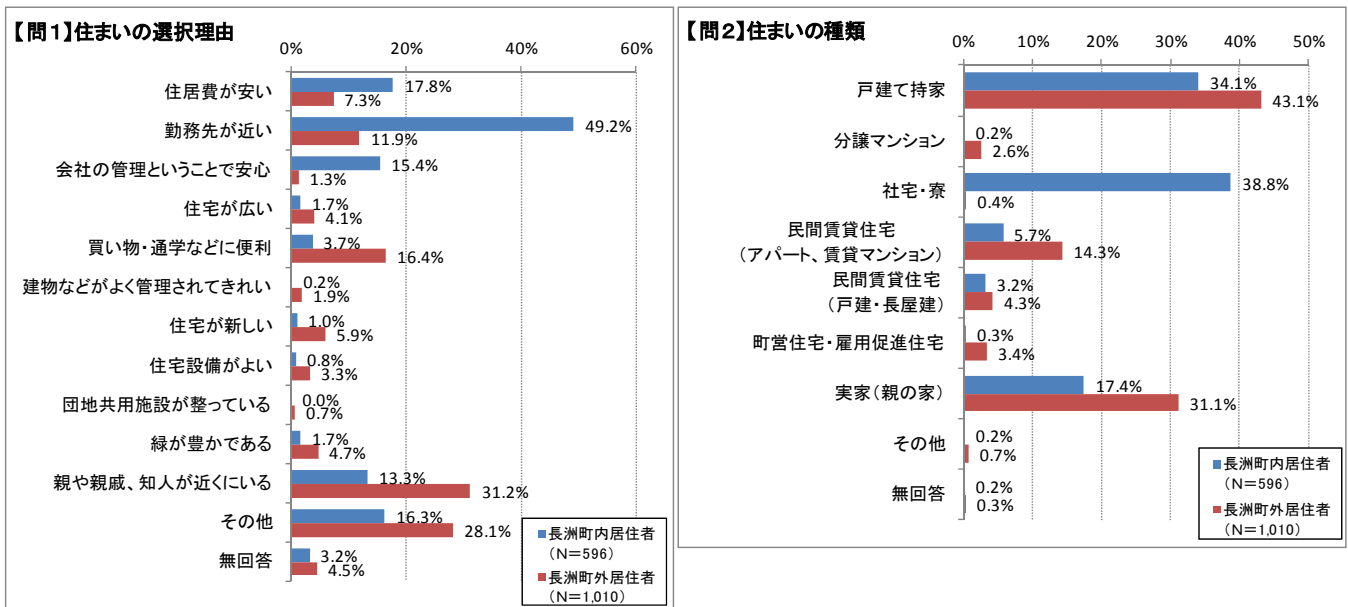
< 1 . 現在の住まいについて >

問1 あなたが現在のお住まいを選んだ理由は何ですか。(複数回答)

・現在の住まいを選んだ理由としては、町内居住者は「勤務先が近い」(49.2%)、「住居費が安い」(17.8%)、「会社の管理ということで安心」(15.4%)、「親や親戚、知人が近くにいる」(13.3%)が比較的多いのに対して、町外居住者は「親や親戚、知人が近くにいる」(31.2%)、「買い物・通学などに便利」(16.4%)、「勤務先が近い」(11.9%)が多くなっています。

問2 お住まいの種類は、次のどれですか。(単数回答)

・住まいの種類については、町内居住者は「社宅・寮」(38.8%)、「戸建て持家」(34.1%)、「実家(親の家)」(17.4%)が比較的多いのに対して、町外居住者は、「戸建て持家」(43.1%)、「実家(親の家)」(31.1%)、「民間賃貸住宅(アパート、賃貸マンション)」(14.3%)が多くなっています。



(問1・問2まとめ)

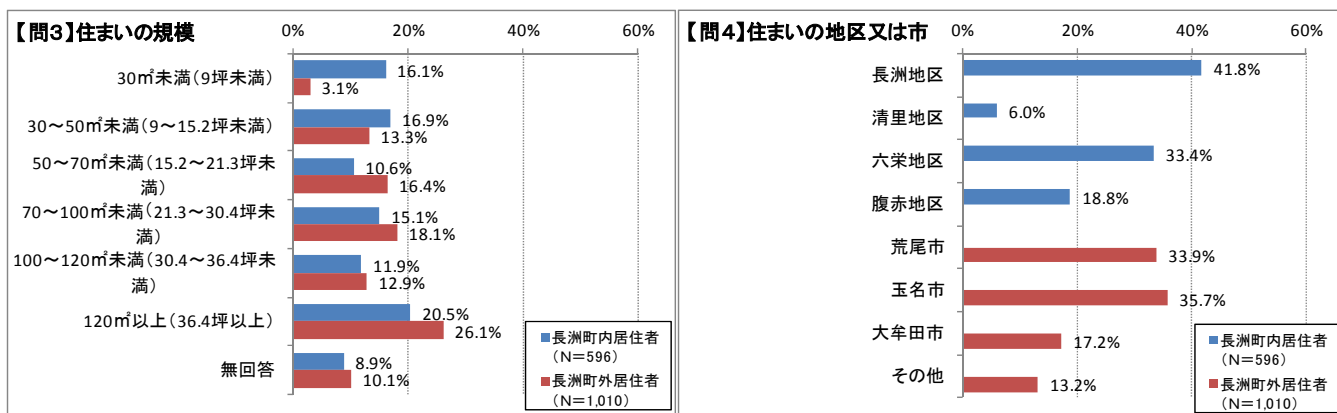
- ・住まいの選択理由について、町内居住者は「勤務先が近い」、「住居費が安い」等が多いのに対して、町外居住者は「親や親戚、知人が近くにいる」、「買い物・通学などに便利」等が多くなっています。
- ・住まいの種類について、町内居住者は社宅・寮や戸建て持家に住んでいるケースが多いのに対して、町外居住者は親元に居住する層と親元を離れ、戸建て持家を購入した層に分かれています。

問3 あなたのお住まいの規模（延べ床面積）はどれくらいですか。（単数回答）

- ・町内居住者は「120㎡以上(36.4坪以上)」(20.5%)が最も多く、次いで「30～50㎡未満(9～15.2坪未満)」(16.9%)、「30㎡未満(9坪未満)」(16.1%)が多くなっています。
- ・町外居住者は「120㎡以上(36.4坪以上)」(26.1%)が最も多く、次いで「70～100㎡未満(21.3～30.4坪未満)」(18.1%)、「50～70㎡未満(15.2～21.3坪未満)」(16.4%)が多くなっています。

問4 お住まいの位置している地区又は市は次のどれですか。（単数回答）

- ・住まいの位置は、町内居住者は「長洲地区」(41.8%)、「六栄地区」(33.4%)、「腹赤地区」(18.8%)が多くなっているのに対して、町外居住者は、「玉名市」(35.7%)、「荒尾市」(33.9%)、「大牟田市」(17.2%)が多くなっています。



(問3・問4まとめ)

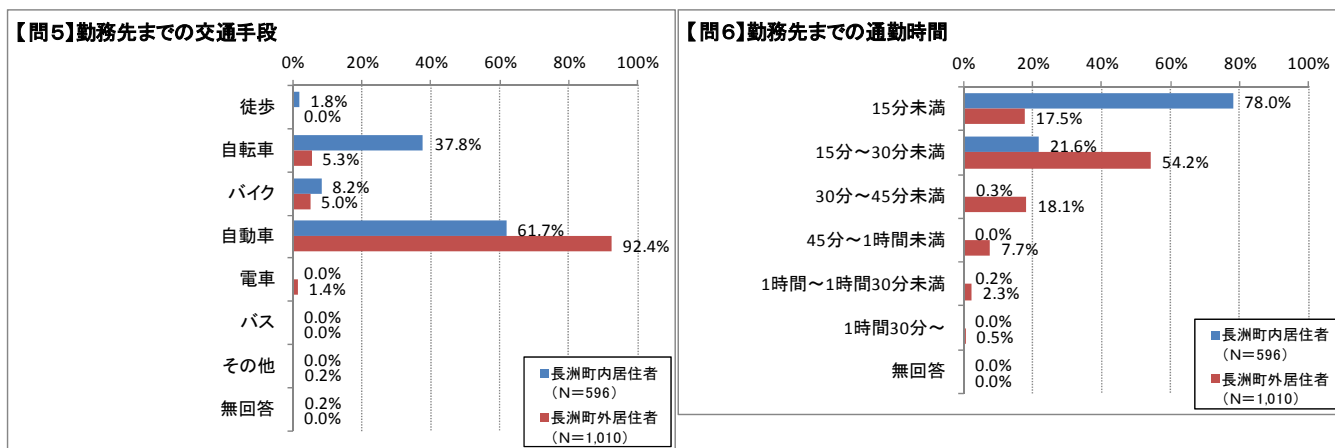
- ・住まいの規模について、町内居住者は様々な規模の住まいが見られるのに対し、町外居住者は50㎡未満の小規模な住宅は少なくなっています。
- ・住まいの位置について、町内居住者は「長洲地区」及び「六栄地区」が、町外居住者は「玉名市」及び「荒尾市」が高い割合を占めています。

問5 お住まいから勤務先までのおもな交通手段は次のどれですか。(複数回答)

- ・勤務先までの交通手段は、町内居住者は「自動車」(61.7%)が最も多く、次いで「自転車」(37.8%)と続いています。町外居住者は「自動車」(92.4%)が圧倒的に多くなっています。

問6 お住まいから勤務先までの通勤時間は次のどれですか。(複数回答)

- ・町内居住者では、勤務先までの通勤時間は「15分未満」(78.0%)が最も多く、次いで「15分～30分未満」(21.6%)と続いています。町外居住者では、「15分～30分未満」(54.2%)が最も多く、「30分～45分未満」(18.1%)、「15分未満」(17.5%)と続いています。
- ・このことは、町内事業所に通勤するには、自動車が最も便利なることを示しています。



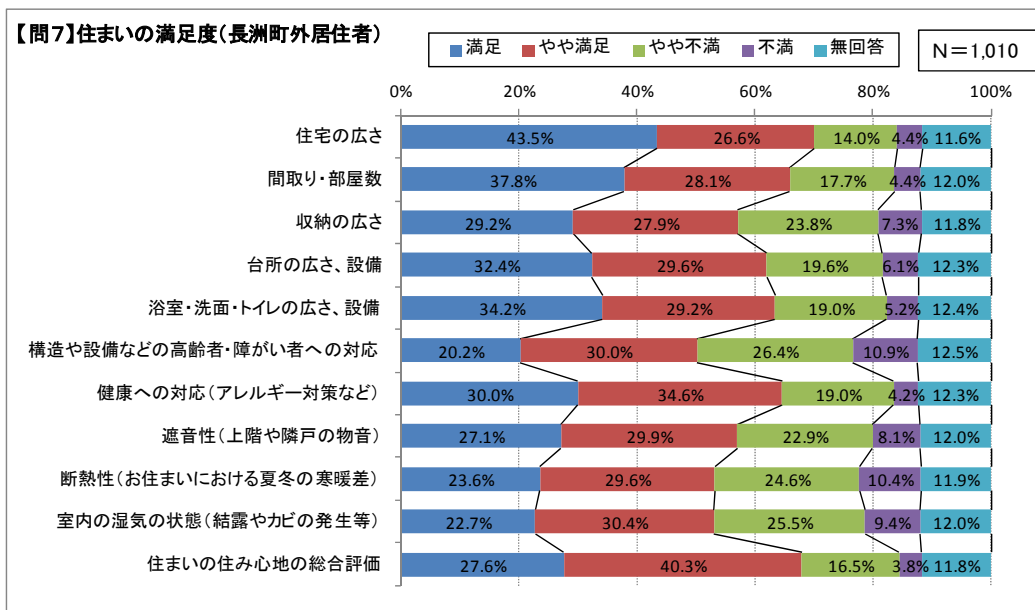
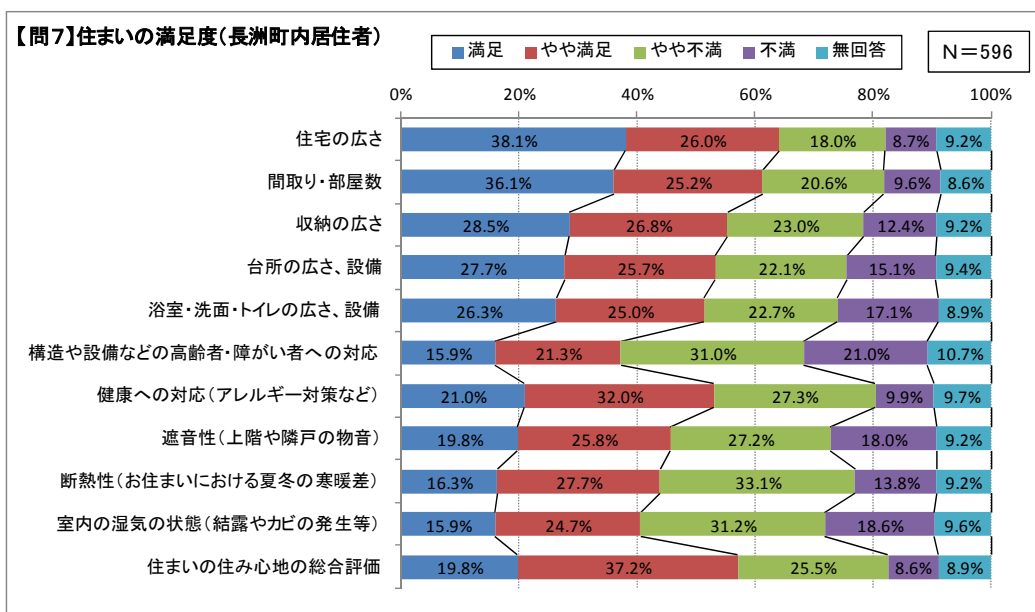
(問5・問6まとめ)

- ・熊本県北部地域は、JR鹿児島本線が通っているにもかかわらず、自動車利用者が多く、町内居住者でさえ自動車利用者が約6割に達しています。今後は、地球温暖化対策のためにも、自転車通勤に対する環境整備が求められます。

< 2 . 現在の住まいの住み心地について >

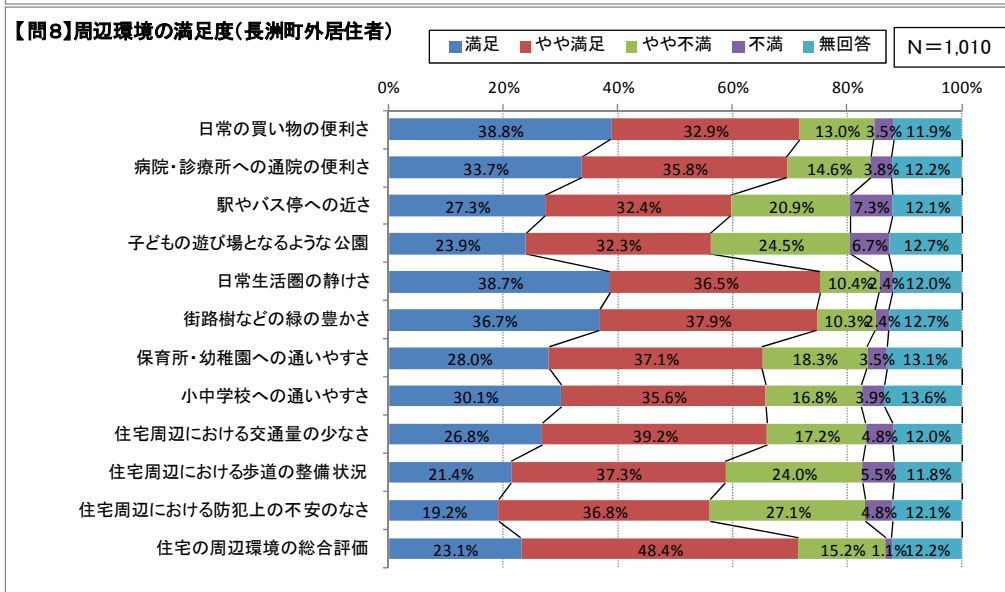
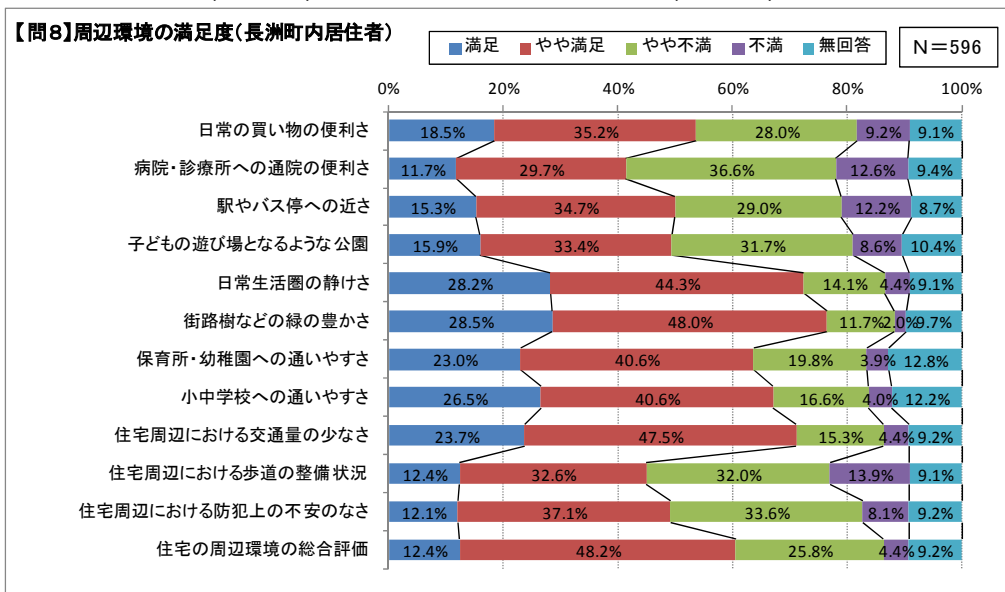
問7 現在の住まいについての満足度について、次の各項目にお答えください。(単数回答)

- ・町内居住者は、住み心地の総合評価における満足度(満足、やや満足の合計)は57.0%で、概ね6割程度となっています。特に評価が高いのは「住宅の広さ」(64.1%)、「間取り・部屋数」(61.3%)などがあります。
- ・一方、町外居住者は、住み心地の総合評価における満足度(満足、やや満足の合計)は67.9%で、概ね7割程度となっています。特に評価が高いのは、「住宅の広さ」(70.1%)、「間取り・部屋数」(65.9%)などがあります。



問8 現在の住宅の周辺環境について、次の各項目にお答えください。(単数回答)

- ・町内居住者は、住宅の周辺環境の総合評価における満足度(満足、やや満足の合計)は60.6%で、概ね6割程度となっています。特に評価が高いのは、「街路樹などの緑の豊かさ」(76.5%)、「日常生活圏の静けさ」(72.5%)などがあります。
- ・一方、町外居住者は、住宅の周辺環境の総合評価における満足度(満足、やや満足の合計)は71.5%で、概ね7割程度となっています。特に評価が高いのは、「日常生活圏の静けさ」(75.2%)、「街路樹などの緑の豊かさ」(74.6%)、「日常の買い物の便利さ」(71.7%)などがあります。



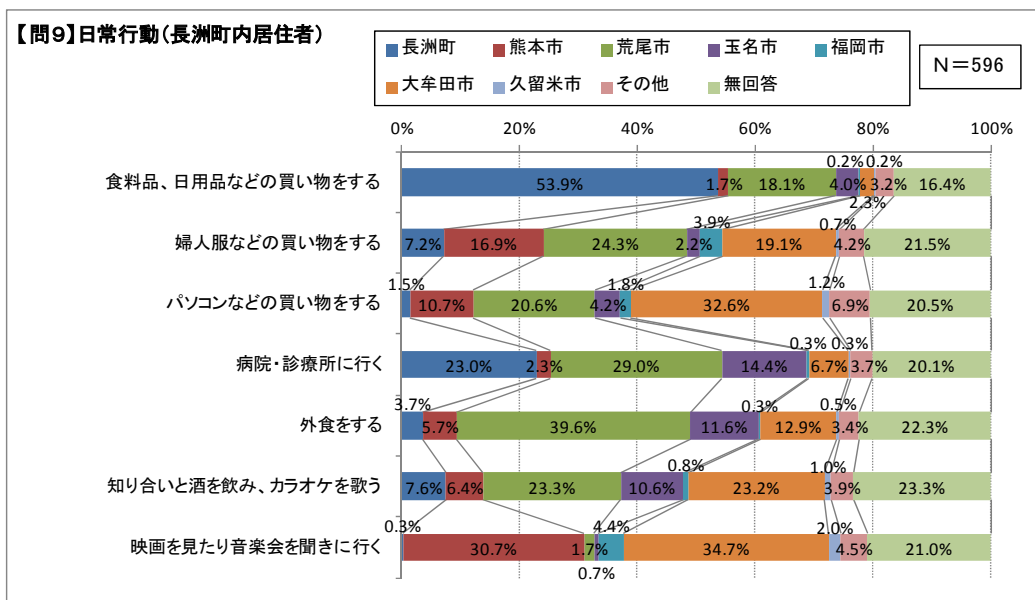
(問7・問8まとめ)

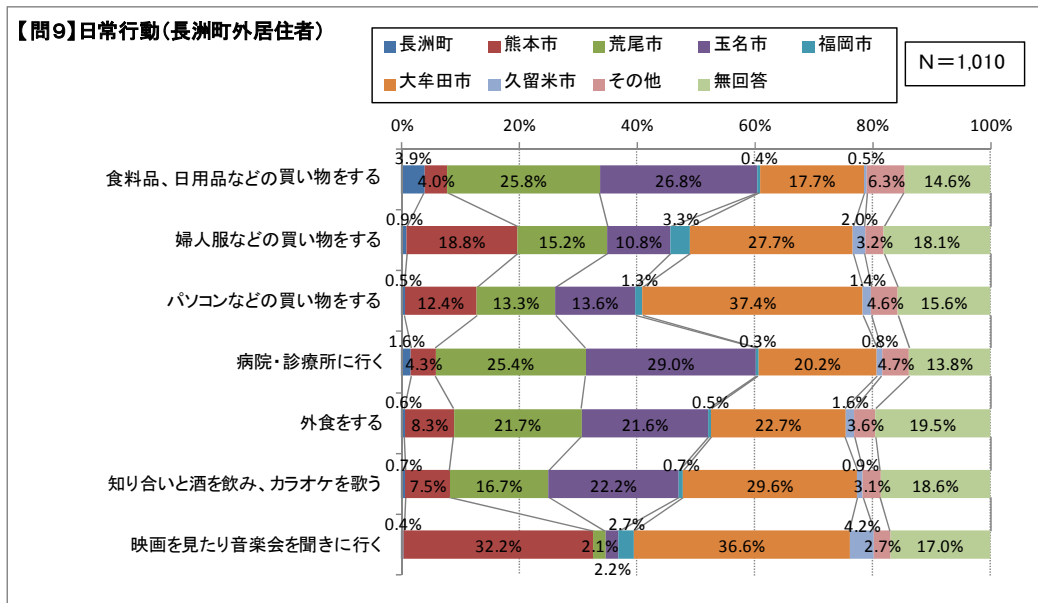
- ・住まいの満足度は、全項目で町内居住者よりも町外居住者の方が満足度が高くなっており、特に台所や浴室・洗面・トイレなどの水回りについてその差が大きくなっています。
- ・住宅の周辺環境の満足度は、緑の豊かさ、静けさにおいては町内居住者と町外居住者のいずれも高いのに対し、買い物や通院などの便利さにおいては町内居住者が低く町外居住者は高い結果となっています。

< 3 . 日常の行動と場所について >

問9 あなたのご家族は、次のような日常行動を主にどこで行いますか。(単数回答)

- ・町内居住者は、家族の買い物行動のうち、食料品・日用品は長洲町(53.9%)、荒尾市(18.1%)、婦人服は、荒尾市(24.3%)、大牟田市(19.1%)、熊本市(16.9%)、パソコンなどは大牟田市(32.6%)、荒尾市(20.6%)、熊本市(10.7%)、病院・診療所は、荒尾市(29.0%)、長洲町(23.0%)、玉名市(14.4%)、外食は荒尾市(39.6%)、大牟田市(12.9%)、玉名市(11.6%)、飲酒・カラオケは、荒尾市(23.3%)、大牟田市(23.2%)、玉名市(10.6%)、映画・音楽会は、大牟田市(34.7%)、熊本市(30.7%)となっています。
- ・町内居住者は、食料品や日用品については過半数が町内で調達しているものの、その他の項目については荒尾市、玉名市、大牟田市に依存している傾向が見られます。
- ・町外居住者は、家族の買い物行動のうち、食料品・日用品は玉名市(26.8%)、荒尾市(25.8%)、大牟田市(17.7%)、婦人服は、大牟田市(27.7%)、熊本市(18.8%)、荒尾市(15.2%)、玉名市(10.8%)、パソコンなどは大牟田市(37.4%)、玉名市(13.6%)、荒尾市(13.3%)、熊本市(12.4%)、病院・診療所は玉名市(29.0%)、荒尾市(25.4%)、大牟田市(20.2%)、外食は大牟田市(22.7%)、荒尾市(21.7%)、玉名市(21.6%)、飲酒・カラオケは大牟田市(29.6%)、玉名市(22.2%)、荒尾市(16.7%)、映画・音楽会は大牟田市(36.6%)、熊本市(32.2%)となっています。
- ・町外居住者は、荒尾市や玉名市に居住している人が多く、大牟田市、荒尾市、玉名市、熊本市に依存し、日常生活圏を形成していることが予想されます。

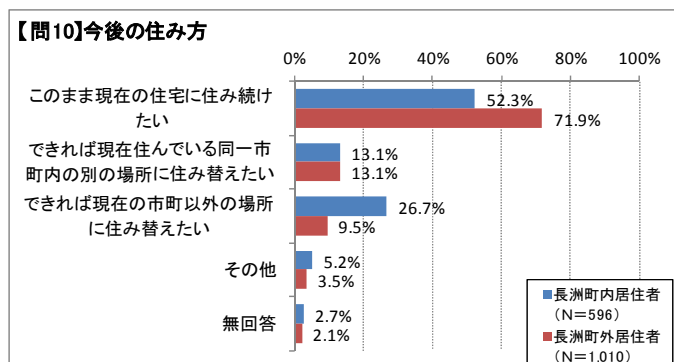




< 4 . 今後約10年間の住み方・暮らし方について >

問10 あなたは、今後の住み方をどう考えていますか。(単数回答)

- 町内居住者は、今後の住み方として「このまま現在の住宅に住み続けたい」(52.3%)が最も多く、次いで「できれば現在の市町以外の場所に住み替えたい」(26.7%)、「できれば現在住んでいる同一市町内の別の場所に住み替えたい」(13.1%)と続いています。
- 町外居住者は、今後の住み方として「このまま現在の住宅に住み続けたい」(71.9%)が最も多く、次いで「できれば現在住んでいる同一市町内の別の場所に住み替えたい」(13.1%)、「できれば現在の市町以外の場所に住み替えたい」(9.5%)と続いています。
- 町内と町外で大きく異なる点として、「このまま現在の住宅に住み続けたい」の割合が町外居住者の方が多くなっていることが挙げられます。



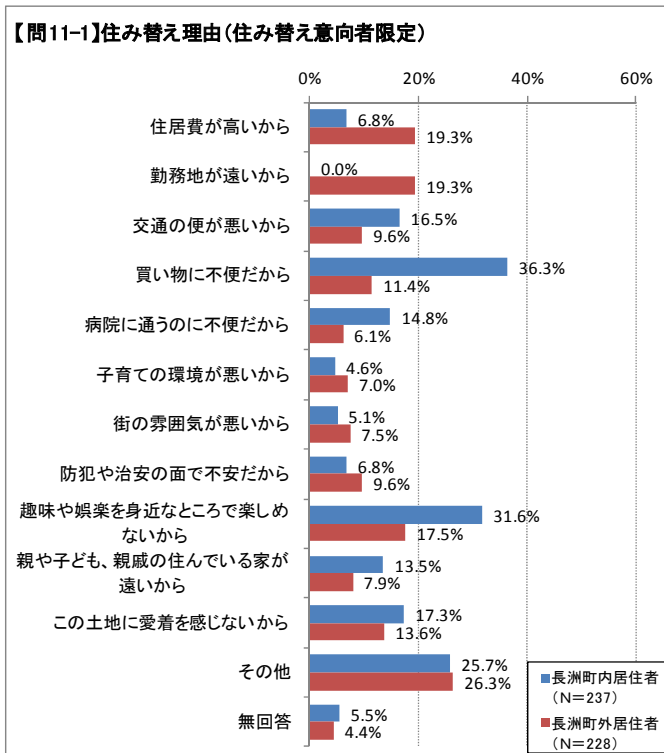
以下、問11-1~5においては、次に示すように問10選択肢の回答によって、設問の対象者を限定しています。(住み替え意向者限定)

| 問10 選択肢 | 限定対象 |
|------------------------------|---------|
| このまま現在の住宅に住み続けたい | - |
| できれば現在住んでいる同一市町内の別の場所に住み替えたい | 住み替え意向者 |
| できれば現在の市町以外の場所に住み替えたい | |
| その他 | - |

問 11-1 あなたが別の場所に住み替えたい理由は、何ですか。(複数回答)

住み替え意向者限定

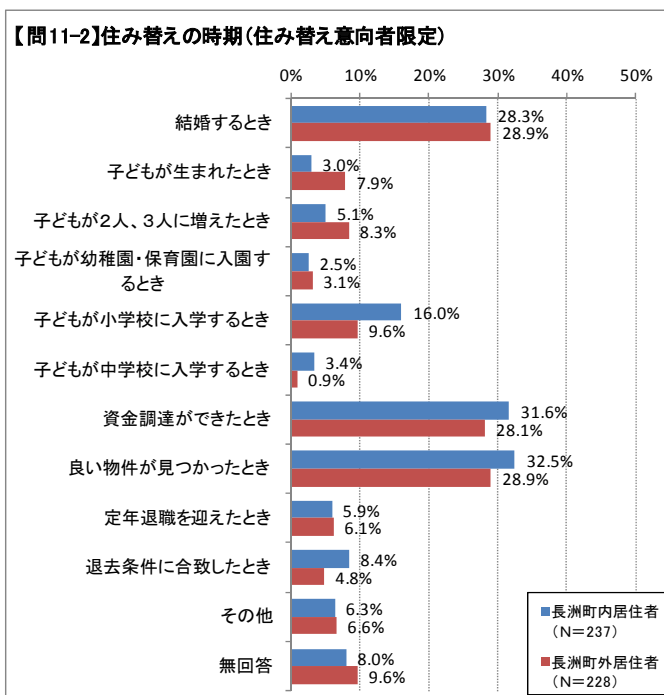
- ・住み替えたい理由として、町内居住者は、「買い物に不便だから」(36.3%)、「趣味や娯楽を身近なところで楽しめないから」(31.6%)、「この土地に愛着を感じないから」(17.3%)、「交通の便が悪いから」(16.5%)、「病院に通うのに不便だから」(14.8%)、「親や子ども、親戚の住んでいる家が遠いから」(13.5%)と続いています。
- ・町外居住者は、「住居費が高いから」(19.3%)、「勤務地が遠いから」(19.3%)、「趣味や娯楽を身近なところで楽しめないから」(17.5%)、「この土地に愛着を感じないから」(13.6%)、「買い物に不便だから」(11.4%)と続いています。
- ・町内と町外で大きく異なる点として、「買い物に不便だから」の割合が町内居住者の方が極めて多くなっていることが挙げられます。



問 11-2 あなたが別の場所に住み替えるときは、どんな時期になるとお考えですか。(複数回答)

住み替え意向者限定

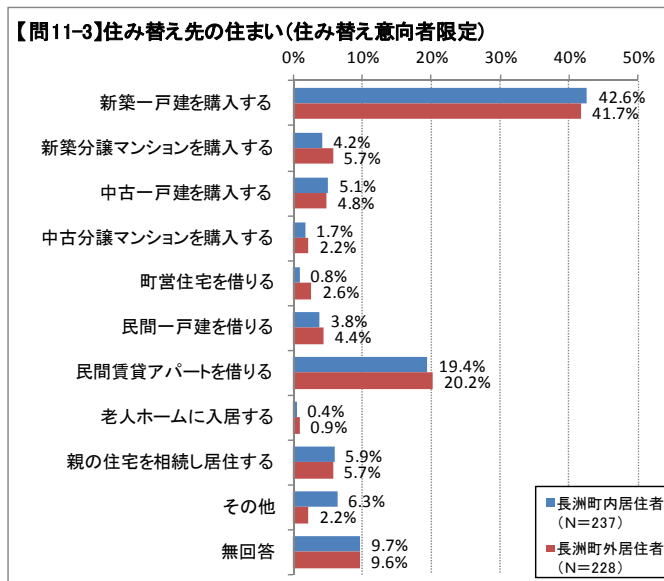
- ・住み替える時期として、町内居住者は、「良い物件が見つかったとき」(32.5%)、「資金調達ができたとき」(31.6%)、「結婚するとき」(28.3%)、「子どもが小学校に入学するとき」(16.0%)と続いています。
- ・町外居住者は、「結婚するとき」(28.9%)、「良い物件が見つかったとき」(28.9%)、「資金調達ができたとき」(28.1%)、「子どもが小学校に入学するとき」(9.6%)、「子どもが2、3人に増えたとき」(8.3%)と続いています。
- ・町内・町外ともに「結婚するとき」、「資金調達ができたとき」、「良い物件が見つかったとき」の割合が高くなっています。



問 11-3 あなたが別の場所に住み替えるときは、どんな住まいを探しますか。(複数回答)

住み替え意向者限定

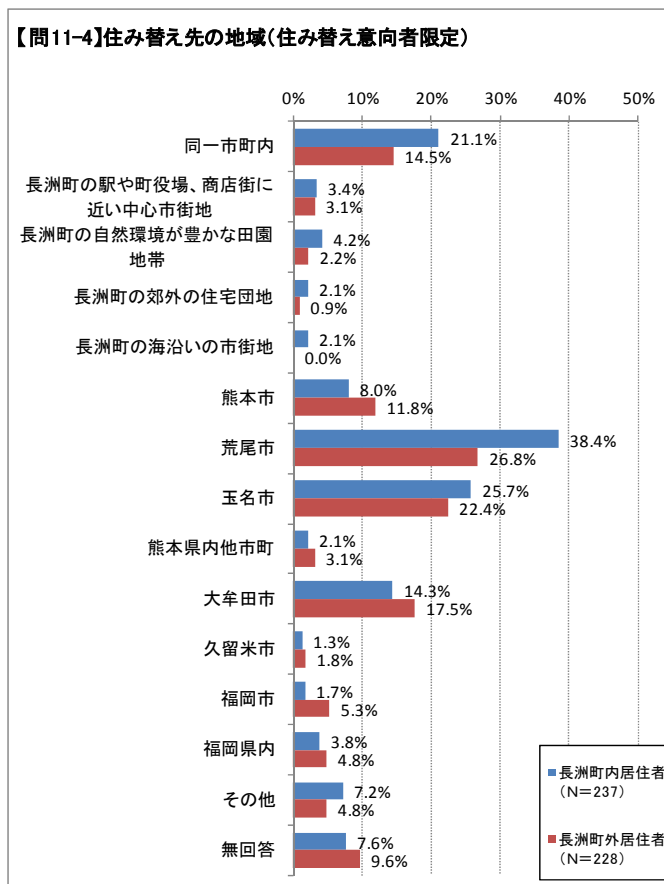
- ・住み替える住宅の種類として、町内居住者は、「新築一戸建を購入する」(42.6%)、「民間賃貸アパートを借りる」(19.4%)と続いています。
- ・町外居住者は、「新築一戸建を購入する」(41.7%)、「民間賃貸アパートを借りる」(20.2%)と続いています。
- ・町内・町外ともに「新築一戸建を購入する」の割合が多くなっています。



問 11-4 あなたが別の場所に住み替えるときは、どの地域を探しますか。(複数回答)

住み替え意向者限定

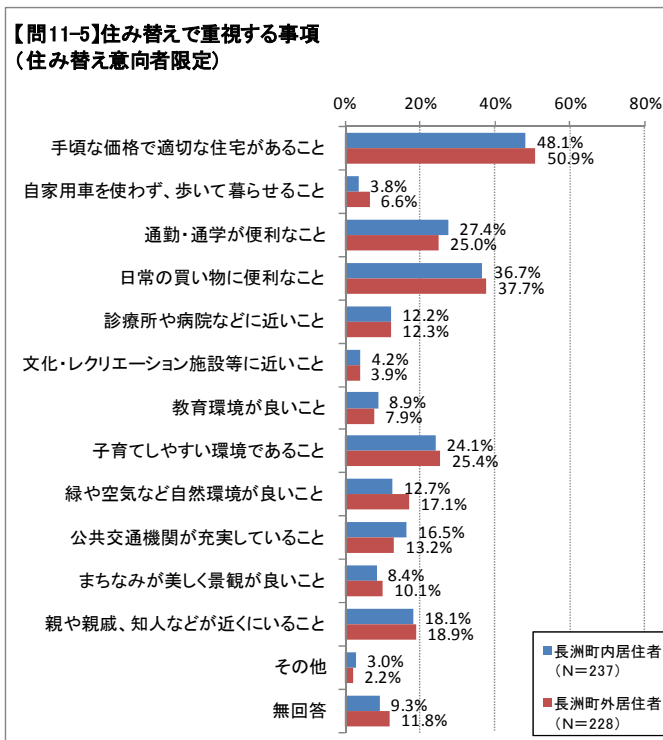
- ・住み替え先として、町内居住者は、「荒尾市」(38.4%)、「玉名市」(25.7%)、「同一市町内」(21.1%)、「大牟田市」(14.3%)と続いています。
- ・町外居住者は、「荒尾市」(26.8%)、「玉名市」(22.4%)、「大牟田市」(17.5%)、「同一市町内」(14.5%)と続いています。
- ・町内と町外で大きく異なる点として、「荒尾市」の割合が町内居住者の方が極めて多く上がっていることが挙げられます。



問 11-5 あなたが別の場所に住み替えるときは、どんな点を重視しますか。(複数回答)

住み替え意向者限定

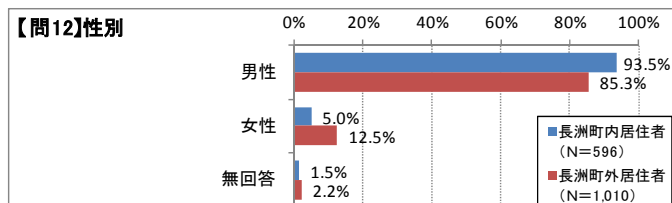
- ・住み替える際の重視する点として、町内居住者は、「手頃な価格で適切な住宅があること」(48.1%)、「日常の買い物に便利なこと」(36.7%)、「通勤・通学が便利なこと」(27.4%)、「子育てしやすい環境であること」(24.1%)、「親や親戚、知人などが近くにいること」(18.1%)、「公共交通機関が充実していること」(16.5%)、「緑や空気など自然環境が良いこと」(12.7%)、「診療所や病院などに近いこと」(12.2%)と続いています。
- ・町外居住者は、「手頃な価格で適切な住宅があること」(50.9%)、「日常の買い物に便利なこと」(37.7%)、「子育てしやすい環境であること」(25.4%)、「通勤・通学が便利なこと」(25.0%)、「親や親戚、知人などが近くにいること」(18.9%)、「緑や空気など自然環境が良いこと」(17.1%)、「公共交通機関が充実していること」(13.2%)、「診療所や病院などに近いこと」(12.3%)と続いています。
- ・町内と町外で比較すると、ほぼ同じ傾向がみられます。



< 5 . 回答者（世帯主）とその家族について >

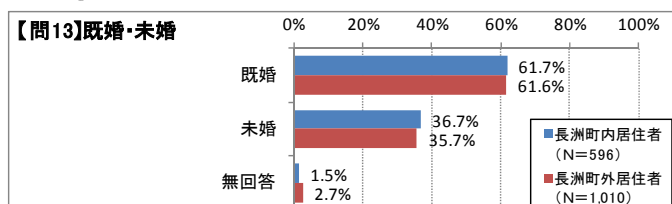
問 12 あなたの性別をお答えください。（単数回答）

- ・町内居住者は、「男性」（93.5%）、「女性」（5.0%）となっています。
- ・町外居住者は、「男性」（85.3%）、「女性」（12.5%）となっています。



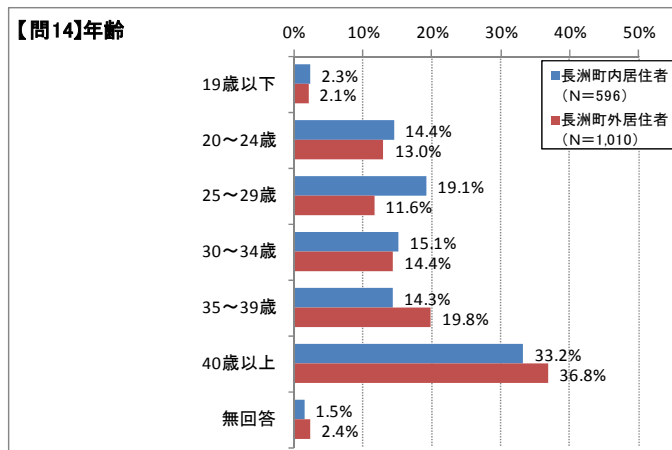
問 13 あなたの性別をお答えください。（単数回答）

- ・町内居住者は、「既婚」（61.7%）、「未婚」（36.7%）となっています。
- ・町外居住者は、「既婚」（61.6%）、「未婚」（35.7%）となっています。



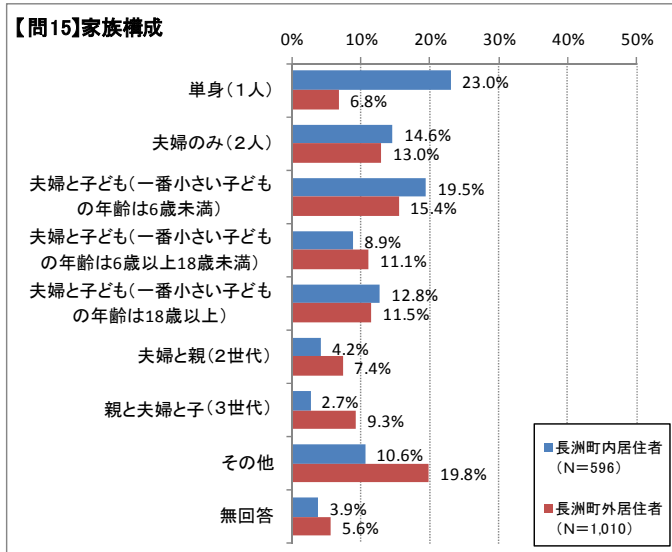
問 14 あなたの年齢をお答えください。（単数回答）

- ・町内居住者は、「40歳以上」（33.2%）、「25～29歳」（19.1%）、「30～34歳」（15.1%）、「20～24歳」（14.4%）、「35～39歳」（14.3%）と続いています。
- ・町外居住者は「40歳以上」（36.8%）、「35～39歳」（19.8%）、「30～34歳」（14.4%）、「20～24歳」（13.0%）、「25～29歳」（11.6%）と続いています。



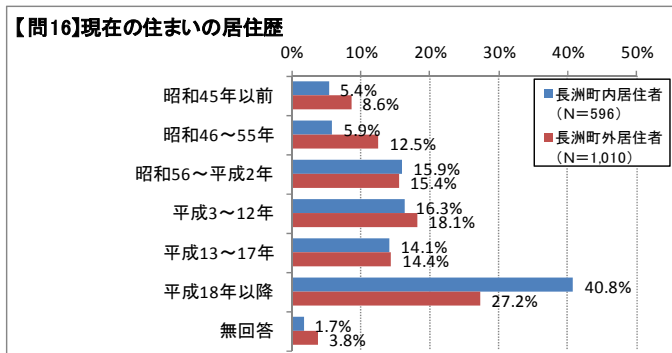
問 15 あなたが現在一緒に住んでいるご家族の構成（あなたを含む）はどれですか。（単数回答）

- ・町内居住者は、「単身(1人)」(23.0%)、「夫婦と子ども(一番小さい子どもの年齢は6歳未満)」(19.5%)、「夫婦のみ(2人)」(14.6%)、「夫婦と子ども(一番小さい子どもの年齢は18歳以上)」(12.8%)と続いています。
- ・町外居住者は、「夫婦と子ども(一番小さい子どもの年齢は6歳未満)」(15.4%)、「夫婦のみ(2人)」(13.0%)、「夫婦と子ども(一番小さい子どもの年齢は18歳以上)」(11.5%)、「夫婦と子ども(一番小さい子どもの年齢は6歳以上18歳未満)」(11.1%)と続いています。



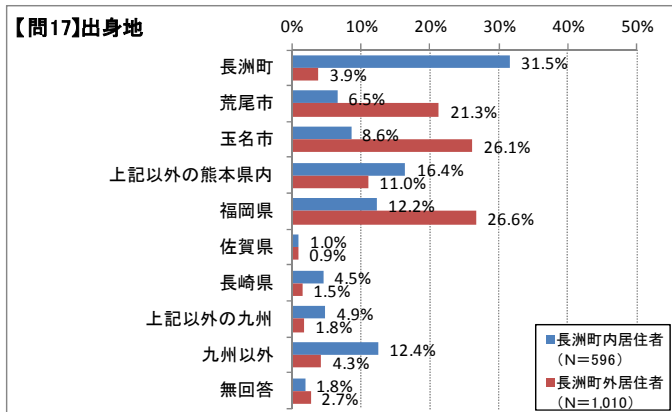
問 16 現在のお住まいはいつ頃から住んでおられますか。（単数回答）

- ・町内居住者は、「平成18年以降」(40.8%)、「平成3～12年」(16.3%)、「昭和56～平成2年」(15.9%)、「平成13～17年」(14.1%)と続いています。
- ・町外居住者は、「平成18年以降」(27.2%)、「平成3～12年」(18.1%)、「昭和56～平成2年」(15.4%)、「平成13～17年」(14.4%)と続いています。



問 17 あなたの出身地（生まれ育った場所）はどこですか。（単数回答）

- ・町内居住者は、「長洲町」(31.5%)、「長洲町、荒尾市、玉名市以外の熊本県内」(16.4%)と続いています。
- ・町外居住者は、「福岡県」(26.6%)、「玉名市」(26.1%)、「荒尾市」(21.3%)と続いています。



2 - 3 子育て世代へのヒアリング調査

(1) ヒアリング調査概要

ヒアリング調査の目的

定住促進に向けて子育て環境の充実を図っていくにあたり、長洲町に住んでいる子育て世代が町内での生活についてどのように感じているか、またどのような意向があるかを把握し、その世代が今後も住み続けるために必要な方策を見出すことを目的として、ヒアリング調査を実施しました。

ヒアリング調査の実施方法・期間

実施方法：直接聞き取り

実施期間：平成 23 年 9 月 28 日及び 12 月 13 日、16 日、20 日、22 日の 5 日間

ヒアリング調査の対象

乳幼児健診の受診時等に町内の 20～40 代の母親を対象として、実施期間中の延べ 32 名に対しヒアリングを実施しました。

ヒアリング内容

子育て世代の母親に対してヒアリングした項目は次のとおりです。

長洲町に住んで不便なこと

長洲町に住んでよかったこと

長洲町にどんなことがあればいいか

(2) ヒアリング調査結果まとめ

ヒアリング調査結果をまとめると次のとおりです。

| 項 目 | 出された意見とその数 |
|------------------|---|
| 長洲町に住んで不便なこと | <ul style="list-style-type: none"> ・公園がない（遠い） 3 ・日常生活のための買い物（大きなスーパー等） 3 ・衣類、家電など食料品以外の買い物 3 ・公共交通の便（高齢者の交通手段など） 3 ・飲食店が少ない 1 ・病院がない（特に小児科） 1 ・周辺に何もなし 1 ・周辺に子どもがいない 1 ・小学校が遠い 1 ・住宅が隣接し、土地が狭い 1 ・税金が高い（特に国保） 1 ・子どもが遊ぶところがない 1 ・町施設等に授乳室がない（少ない） 1 ・近所付き合いが大変 1 ・子どもの習い事（スポーツ関係）が近くにない 1 |
| 長洲町に住んでよかったこと | <ul style="list-style-type: none"> ・医療費の助成 8 ・日常生活のための買い物 4 ・乳幼児医療の手続きが楽である 3 ・子育て支援が充実している 3 ・子育て支援センターや図書館などの施設がある 3 ・近所の人が親しく接してくれる 2 ・子育てしやすい 2 ・サークル、子育てイベントが充実 1 ・子ども健康診断が集団で開催するので友達ができる 1 ・駅に近い 1 ・日常生活に支障がない 1 ・税金が安い 1 ・のんびり子育てができる環境 1 ・公園がある 1 ・保育所から小学校にそのまま上がれるので友達関係の心配がない 1 ・住みやすいまち 1 ・自然が身近に感じられる 1 ・のんびりしている 1 ・昔からの近所付き合いがある 1 |
| 長洲町にどんなことがあればいいか | <ul style="list-style-type: none"> ・予防接種の無料化 6 ・医療費助成の対象を拡大 5 ・子どもの遊び場 2 ・子育て環境・支援の充実 2 ・いろいろなものが買い物できる施設（ショッピングモールなど） 2 ・安心して子育てできるサポート体制 1 ・病児・病後児保育の費用を安くする 1 ・予防接種の手続きの便利化 1 ・小児科の病院 1 ・ショッピングモール 1 ・町内の土地情報がわかるもの 1 ・ファミリー向けの賃貸住宅 1 ・延長保育の充実などの平日の保育サポート 1 ・保育所の情報提供 1 ・土日の夜の子育てサポートの充実 1 ・紙おむつのごみ回収に対する補助 1 ・休日に対応する病院 1 ・花屋や本屋等の色々なお店 1 |